

シグマ研究委員会核データ専門部会 融合炉核データW.G. 第2回会合議事録

日 時：昭和49年10月28日(月) 13:30~17:30

場 所：原研東京本部第3会議室

出席者：更田，西村，浅見，関，田中(原研)，村田(NAIG)

北沢(東工大)，伊東(日立)，伊尾木(三菱)，小林(京大炉)

神田(九大工)，白石(原研，講師)

配布資料 1. Request List of Nuclear Data for Controlled Fusion Research as Submitted to the International Atomic Energy Agency by Member States, INDC(NDS) -57/U+F (Dec. 1973)

2. 核融合炉材料の放射線損傷：原研，白石健介

議 事

1. 前会議事録確認

2. 浅見氏，神田氏の自己紹介

3. 勉強会 白石氏による「核融合炉材料の放射線損傷」についての講演が配布資料2に沿って行なわれた。

4. INDC Meeting (Canberra)の報告(更田氏)

日本からINDCにJapanese CTR Nuclear Data Request Listを提出するという宿題を受けて来た。次回のINDC Meetingに間に合うように提出できることが望ましい。Australiaからcapture gamma関係のデータ・センターとして2名が立候補している。

5. Japanese CTR Nuclear Data Request Listの素材の紹介
(関氏)

プランケット用核データ(放射線損傷関係の核データを除く)のRequest Listの素材の紹介がなされた。これらは笠井(東大原子力工学科)，

伊尾木、関の3氏から提出されたものである。笠井氏の了承を待って、これらの資料のコピーを配布する予定である。

放射線損傷関係の核データの Request List の素材は白石氏から今年末か来年はじめ頃提出される予定である。

これらの素材の Screening の作業をどのように進めるかについては、次の議題と関連があるので、あとで考える。

6. 評価作業対象の選択

宿題として、各人が興味のある評価作業の対象を考えて来ることになってしたが、その紹介が次のようになされた。これらはゼロ次案であって、対象の変更、拡張、縮小などあってもよい。

更田 $Ta(n, r)$, その他

^{10}B , ^{11}B

西村, 伊東 $F(n, 2n)$, $F(n, \alpha)$

神田 $^{93}Nb(n, 2n)$, $^{92}Nb(n, \alpha)$

北沢 $Ni, Nb, Ta(n, \alpha)$ Cross section および α spectr.

$Mo(n, p)$

(n, r) 反応 $E_n = 1 \sim 14$ MeV での r spectr.

田中 Mo isotopes, Zr isotopes の (n, n) , (n, n') cross sect.

浅見 (n, r) 反応 r spectr.

小林 $Ti(n, p)$

Pb

村田 $Li(t, x)$ 生成トリチウムによる二次反応

関 $Mo(n, \alpha)$, (n, p)

$(n, n'p)$ および (n, d) 反応

宿題として、各自の紹介したものについて、測定データの有無などをサーベイして、評価作業の進め方について成るべく具体的に考えて来ること

にした。

次回予定：12月16日（月）または17日（火）：東海

- 1) 勉強会としての講演会（講師未定）
- 2) Request List 素材に対する Screening 作業の進め方
- 3) 各メンバーによる評価作業の進め方の紹介
- 4) その他